

令和6年度 月島第二小学校 自己評価

中央区立月島第二小学校 住所 中央区勝どき1-12-2

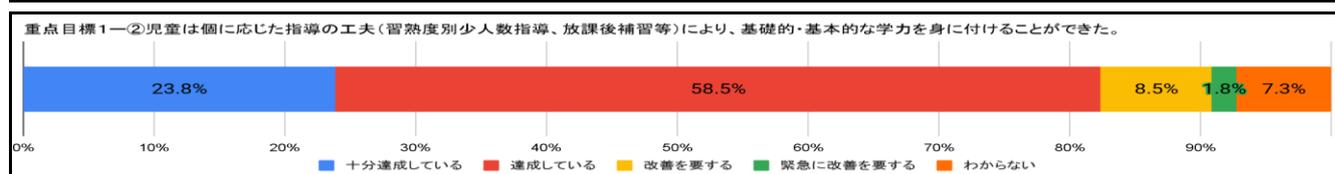
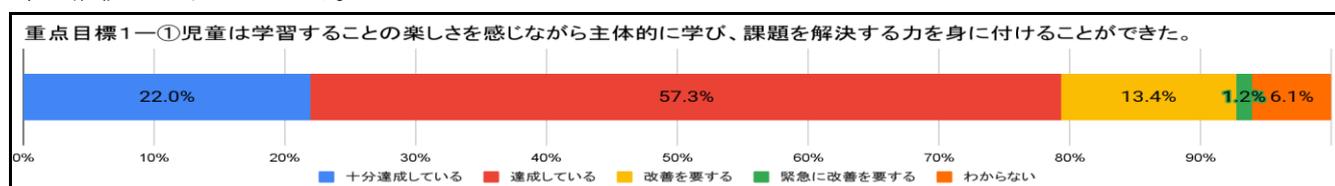
校長 伊藤 真吾

児童数 643名 学級数 通常20・特別支援学級4 教職員数71名

1 重点目標の達成状況及び取組状況

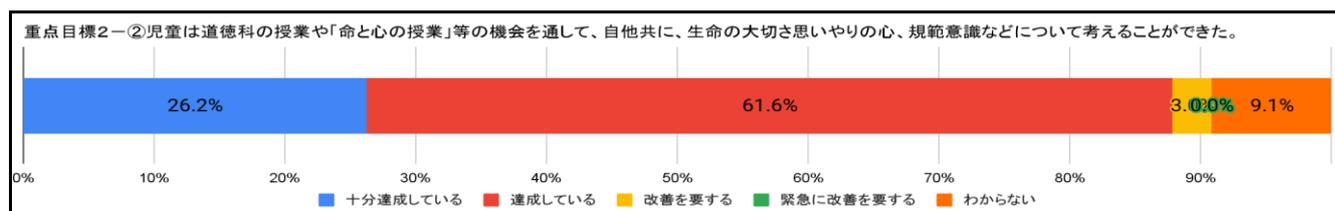
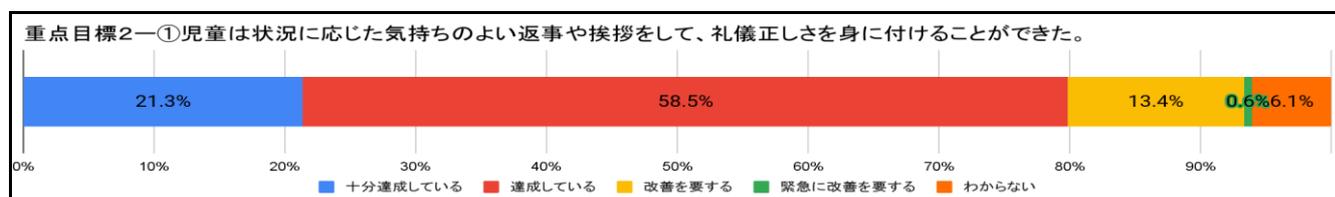
(1) 確かな学力を身に付けさせる教育活動〈保護者アンケート〉

重点目標1-①については79.3%、1-②については82.3%の肯定的な評価をいただいたものの、「改善を要する」「わからない」の評価も一定数あった。今後、学校公開等を通して児童の学習の様子を参観する機会を活用したり、個人面談等で学校での児童の様子を分かりやすくしたりする。また、朝学習や放課後学習等の活用、ICTの活用をすることで、一人一人の児童の理解に合わせた指導を継続して行っていく。



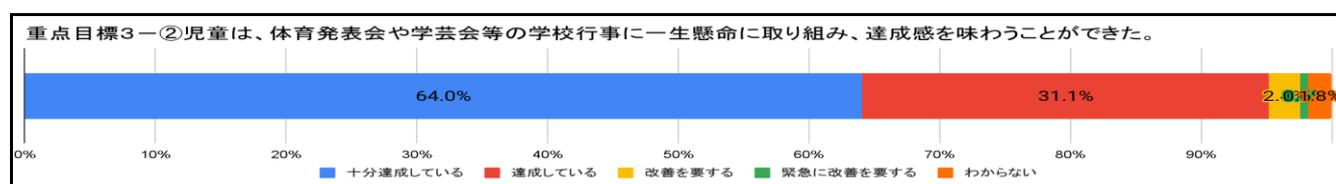
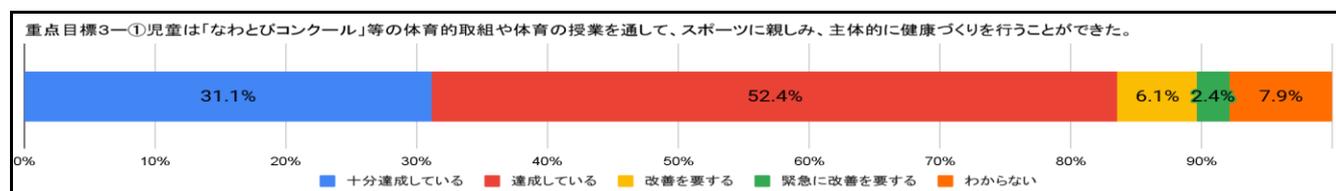
(2) 豊の心を育む教育活動〈保護者アンケート〉

重点目標2-①については79.8%、2-②については87.8%の肯定的な評価をいただいた。2-①については「改善を要する」の割合が13.4%あり、返事や挨拶については今後も生活指導部を中心に学校全体で組織的な取組をしていく。また、学校と家庭が連携し日常的に挨拶、返事ができる環境を整えたい。道徳科に関しては、道徳授業地区公開講座等を通して、保護者や地域の道徳科の授業を広く公開し、道徳科の授業のさらなる質の向上と道徳教育の充実を図りつつ、家庭や地域と連携して児童を健全に育成する。



### (3) 健やかな心と体を育む教育活動〈保護者アンケート〉

重点目標3-①については83.5%、3-②については95.1%の肯定的な評価をいただいた。本校の教育の特色であるマイスクールスポーツ「なわとび」を通じた体力の向上や、縄跳び専門家を招聘しての指導や「児童指導員」の制度を生かした縄跳び技術の向上及び達成感を味わえるような行事への取組の充実を図ることで、学校全体で引き続き豊かな心と体を育てていく。体育発表会から運動会に名称を戻し、さらに充実した取組を行う。



## 2 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況

保護者アンケート設問11「児童は、問題や悩み、トラブルなどを、学校の先生やスクールカウンセラーの先生に話したり相談したりしている」では40.8%の保護者が「児童が学校に悩み、トラブルを相談できていない」25%が「よくわからない」と感じている。児童のアンケートでも31.4%が「少し話しにくい」「話しにくい」と感じている。学校生活や友達との関わり方に不安を抱えている児童が相談できずに困っている可能性がある。本校は教科担任制を導入しているので、一人の児童に対し、数多くの教員が関わるができる。こうした利点を生かし、児童の心に寄り添う指導や、児童を多面的・多角的に理解する学校体制を充実させ、悩みを見逃さない、悩みを相談しやすい環境をつくっていく。また、保護者や地域の方々、関係機関等と連携・協力しながら児童の健全育成に努めていく。

## 3 今後の改善策

学校の重点目標3つに対しては、概ね目標を達成していると評価されていると思われるが、すべて80%達成できるよう、さらに指導を充実させていく。重点目標3-②は体育発表会や学芸会を保護者が実際に教育活動を参観できることから「十分達成している」という割合が他の項目に比べて高い。このことから今後も行事や学校公開等で学校での児童の様子を直接参観できる機会を充実させたい。設問15の「学校はICT機器を十分活用している」17.7%の保護者が「よくわからない」と感じていることから、学校公開等で実際活用している場面を見てもらう必要がある。

児童のアンケートではどの項目も概ねよい評価になっている。ただ、「自分の体力づくりに取り組んでいますか」では27.9%の児童が「あまりできていない」「できていない」と回答していることから、自ら運動することや、体力づくりを意識した生活が送れるような取組が必要である。

今後も児童の姿を通して、育成すべき資質・能力を全教職員で共有し、保護者や地域の教育力をいただきながら、目指す児童像の育成に向けて日々の教育活動の充実を図っていく。